

全関西大学女子バスケットボール連盟 2026年度 大会予定

全関西大学女子バスケットボール選手権大会	4月上旬～5月上旬
全関西大学女子バスケットボール新人戦	5月中旬～5月下旬
西日本学生バスケットボール選手権大会	6月1週目
全関西大学女子バスケットボールリーグ戦	8月下旬～11月上旬
全関西大学女子バスケットボール秋季トーナメント大会	11月中旬～11月下旬
全関西大学女子3×3予選会（仮称）	2026年1月頃と想定

各大会表彰規定(2026年度表彰規定は未定)

・全関西大学女子バスケットボール選手権大会

最優秀選手賞	1名
敢闘賞	1名
優秀選手賞	8名
新人賞	3名
得点王	1名
リバウンド王	1名
アシスト王	1名
3ポイント王	1名

・全関西大学女子バスケットボール新人戦

最優秀選手賞	1名
敢闘賞	1名
得点王	1名
3ポイント王	1名

・西日本学生バスケットボール選手権大会

最優秀選手賞	1名
敢闘賞	1名
優秀選手賞	4名
優秀指導者賞	1名
得点王	1名
アシスト王	1名
リバウンド王	1名
3ポイント王	1名

・全関西大学女子バスケットボールリーグ戦

1部		2部		3部		4部	
最優秀選手賞	1名	優秀選手賞	4名	優秀選手賞	各2名	優秀選手賞	各2名
敢闘賞	1名	得点王	1名	得点王	各1名	得点王	各1名
優秀選手賞	9名	リバウンド王	1名	3ポイント王	各1名	3ポイント王	各1名
新人王	1名	アシスト王	1名				
得点王	1名	3ポイント王	1名				
リバウンド王	1名	フリースロー王	1名				
アシスト王	1名						
3ポイント王	1名						
フリースロー王	1名						

・全関西大学女子バスケットボール秋季トーナメント大会

最優秀選手賞	1名
敢闘賞	1名
優秀選手賞	2名
得点王	1名
リバウンド王	1名
アシスト王	1名
3ポイント王	1名

*2026年度より、3×3のインカレが始まるためその予選会を新たに行う予定

交流戦について

日 程：2026年3月14日（土）、3月15日（日）

会 場：大阪電気通信大学 四條畷キャンパス

対 象 校：3部、4部、未加盟校チーム

競 技 方 法：8分ハーフゲーム（10時トスアップ予定）

参加チーム：計13校

【3月14日（土）】

佛教大学、奈良女子大学、大阪芸術大学、甲南大学、大阪公立大学、龍谷大学、
京都大学、滋賀大学、兵庫医科大学、和歌山大学 （計10チーム）

【3月15日（日）】

佛教大学、奈良女子大学、京都女子大学、甲南大学、大阪芸術大学、龍谷大学、
京都大学、大阪大学、学連 （計9チーム）

【3月3日時点】

2025年度 全関西大学女子バスケットボール交流戦・フレンドリーマッチ
タイムスケジュール

3/14 (土) 大阪電気通信大学・四條畷キャンパス														
	GNO		A				TO		GNO		B		TO	
11:00	1	10	兵医大	-	龍谷大	7	大公大	2	6	大芸大	-	滋賀大	9	甲南大
12:00	3	2	大公大	-	奈良女	5	龍谷大	4	8	京都大	-	佛教大	3	滋賀大
13:00	5	9	滋賀大	-	兵医大	10	奈良女	6	4	和歌山	-	甲南大	1	佛教大
14:00	7	7	龍谷大	-	大芸大	6	兵医大	8	5	奈良女	-	京都大	8	和歌山
15:00	9	1	甲南大	-	大公大	2	大芸大	10	3	佛教大	-	和歌山	4	京都大

3/15 (日) 大阪電気通信大学・四條畷キャンパス														
	GNO		A				TO		GNO		B		TO	
10:00	11	3	佛教大	-	大芸大	6	甲南大	12	5	奈良女	-	京都大	8	京女大
11:00	13	11	大阪大	-	学連員	13	龍谷大							
12:00	14	8	京都大	-	京女大	12	奈良女	15	6	大芸大	-	甲南大	1	佛教大
13:00								16	13	学連員	-	龍谷大	7	大阪大
14:00	17	1	甲南大	-	佛教大	3	大芸大	18	12	京女大	-	奈良女	5	京都大
15:00	19	7	龍谷大	-	大阪大	11	学連員							

2025年度 全関西大学女子バスケットボール連盟 事業活動報告

【総務部活動報告】

1. 加盟登録

2025年3月より各大学の関西女子学連への加盟の登録を行った。

2025年度加盟校は合計で41校となった。

加盟校の減少も問題となっているため、年間を通じて情報交換を行いながら、未加盟大学へアプローチし加盟促進に努めた。

2. 加盟チーム・関係機関・役員名簿管理

各団体の名簿を個人情報に配慮しながら適切に管理した。また、各方面の連絡窓口として通知や案内を発信し、関連する文書の管理を担当した。

3. 定款・規程の整備

定款、規程の修正整理を行った。

4. 各大会における表彰式の実施

各大会において、表彰状および表彰物を準備し、最終日には表彰式と閉会式の運営を担当した。

5. 各会議の実施

必要に応じて下記のように各会議を実施し、議題、議事録の整理作成を担当した。

〈総会〉

・2025年6月15日 社員総会 @対面

〈常任理事会〉

・2025年6月24日 第1回常任理事会 @zoom

・2025年9月30日 第2回常任理事会 @zoom

〈理事会〉

・2025年5月19日 第1回理事会 @zoom

・2025年6月15日 第2回理事会 @対面

・2025年7月24日 第3回理事会 @zoom

・2025年11月17日 第4回理事会 @zoom

・2026年1月24日 第5回理事会 @対面

・2026年3月8日 第6回理事会 @対面

〈総務部会〉

・2024年11月22日 第1回総務部会 @zoom

・2024年12月16日 第2回総務部会 @zoom

〈50周年事業構想検討委員会〉

・2026年1月24日 第1回検討委員会 @対面

6. 講習会の実施

下記のように講習会を実施した。

・2025年8月27日 熱中症対策講座

・2026年3月8日 インテグリティ・コンプライアンス研修会

【広報渉外部活動報告】

1) はじめに

広報渉外部では、バスケットボール競技の魅力を広く発信し、連盟の認知向上および企業との連携強化を目指して活動してきた。女子大学生の情熱や成長ストーリーを伝えることを主な目的とし、ホームページや SNS などのメディア発信に加え、パンフレット制作や動画配信など多角的な広報戦略を展開した。

(2) 主要活動

1) 協賛企業関係・新規企業開拓

既存の協賛企業との関係構築を継続しつつ、新たな協賛企業先の開拓にも注力した。パンフレットへの広告掲載や会場内での立看板の設置など、大会支援を通じて、企業と大学バスケットボールの架け橋となる広報活動を展開した。また、2025 年度の活動概要をまとめた簡易パンフレットを作成した。年間の試合結果および活動内容を掲載し、協賛企業をはじめとする関係各所への活動周知を図るとともに、今後の協賛継続・拡大につながる広報資料として活用した。

2) 地域貢献活動

豊中市と連携し、大阪体育大学のご協力のもと、「豊中市バスケットボールフェスタ」を開催した。地域の小学生を対象とした技術指導や交流プログラムを実施し、競技の楽しさやスポーツに親しむ機会の提供に努めた。また、SNS 等を通じて地域連携の取り組みを発信し、競技の魅力発信を行った。

3) パンフレット作成

- ・第 46 回全関西大学女子バスケットボール選手権大会
- ・第 3 回全関西大学女子バスケットボール新人戦
- ・男子第 75 回女子第 74 回西日本学生バスケットボール選手権大会
- ・2025 年度全関西大学女子バスケットボールリーグ戦
- ・2025 年度全関西大学女子バスケットボール秋季トーナメント大会

計 5 大会に向けた大会詳細、選手紹介、企業協賛枠を設けた PR 媒体としてパンフレットを制作。

4) ホームページ作成・管理/ SNS 運用

大会情報、大会日程・組合せ、試合結果、ゲームスコア、WEB パンフレット販売情報等をホームページに掲載。常に最新情報を掲載し、訪問者数の増加を図った。また、Instagram・X では、ホームページ内容に加え、試合速報、SNS 企画等をリアルタイムで発信。投稿のデザインやハッシュタグの工夫を通じて、チームや保護者、ファンとの接点を増やし、競技への関心を高めるきっかけとなった。

5) YouTube 配信

ライブ配信を行い、来場が難しい方も試合の臨場感や選手の魅力を発信した。さら

に、アーカイブを通じて大会後も視聴できる環境を整え、どこからでも応援できるコンテンツを強化に努めた。

6) 大会運営

試合会場にて大会画像や YouTube 配信予告、大会企画の貼り紙を掲示し、会場の雰囲気づくりや大会の盛り上げに貢献した。また、各種ベスト 10 を掲示し、選手の競技意欲向上につながる環境づくりを実施。さらに大会の記録・広報用素材として一眼レフカメラでの撮影を行い、視覚的コンテンツの充実を図った。*簡易パンフレットに掲載

(3) 成果

1) 協賛企業

協賛企業関係・新規企業開拓の推進により、2024 年度と比較して協賛金の増加を実現した。詳細は以下の通りとなる。

【2024 年度：3,620,000 円 → 2025 年度：4,130,000 円 前年度より+51,000 円】

2) SNS 運用

SNS 運用の充実により、魅力的な画像の作成や速報性の高い投稿にも力を入れ、関西女子学連の認知拡大に貢献した。1 年間で+約 600 人のフォロワーを獲得することができた。

3) パンフレット

パンフレット内容の充実により、パンフレットの売上につながった。また、各大会の売上部数は以下の通りとなった。

【各大会総売上部数：全関西 554 冊 (22 冊) / 新人戦 373 冊 (15 冊) / リーグ戦 648 冊 (22 冊) / 秋季 300 冊 (3 冊)】

※ () 内は WEB パンフレット販売による売上部数

(4) 課題

1) パンフレットの発行部数

新人戦において、パンフレットの在庫が不足し、追加発注を行うこととなった。昨年度の販売実績および発行部数をもとに検討し、余裕のある部数の発注を行う。

2) YouTube 配信のトラブル

機材トラブルにより配信が停止することがあった。ビデオカメラの購入と配信協力をいただいている FASTBREAKS との連携を強化し改善を試みる。

(5) 今後に向けて

新たに TikTok アカウントを開設し、各 SNS の特性を生かした運用の工夫を行うことで、魅力あるコンテンツの配信を強化し、関西大学女子バスケットボールのさらなる普及に努める。また、協賛企業との連携強化と新規開拓を継続し、大会支援につなげていく。パンフレット制作については、作業の効率化と企業との連携強化を図り、より質の高い媒体を目指す。さらに、パンフレットのデジタル化についても検討していきたい。

【財務部活動報告】

1. 各種収入の収納・管理

加盟運営費、参加費、協賛、パンフレット販売等の管理を行った。

1) 総務部と連携して運営費・運営協力費の入金処理を行った。

2) チームの参加費・広告費等の受領及び管理を行った。

《全関西》

参加費：35,000 円×36 チーム=1,260,000 円 (前年比-70,000 円)

《新人戦》

参加費：25,000 円×26 チーム=650,000 円 (前年比+50,000 円)

《リーグ戦》

〈1 部〉

参加費：150,000 円×10 チーム=1,500,000 円

広告費：40,000 円×10 チーム=400,000 円

〈2 部〉

参加費：100,000 円×11 チーム=1,100,000 円

広告費：30,000 円×11 チーム=330,000 円

〈3 部〉

参加費：70,000 円×12 チーム=840,000 円

広告費：20,000 円×12 チーム=240,000 円

〈4 部〉

参加費：50,000 円×7 チーム=350,000 円

広告費：10,000 円×7 チーム=70,000 円

〈合計〉

参加費：3,790,000 円 広告費：1,040,000 円

合計：4,830,000 円 (前年比-480,000 円)

《秋季》

参加費：20,000 円×28 チーム=560,000 円 (前年比±0 円)

3) パンフレット販売及び部数の管理を行った。

《全関西》

チーム：700 円×410 冊=287,000 円

一般：800 円×122 冊=97,600 円

Web：1,000 円×22 冊=22,000 円 合計：406,600 円/554 冊 (前年比-11,800 円)

《新人戦》

チーム：400 円×271 冊=108,400 円

一般：500 円×87 冊=43,500 円

Web：600 円×15 冊=9,000 円 合計：160,900 円/373 冊 (前年比+11,400 円)

《リーグ戦》

チーム：1,000円×478冊＝478,000円

一般：1,500円×148冊＝222,000円

Web：1,700円×22冊＝37,400円 合計：737,400円/648冊（前年比－63,800円）

《秋季》

チーム：600円×227冊＝166,200円

一般：800円×20冊＝16,000円

Web：1,000円×3冊＝3,000円 合計：185,200円/300冊（前年比－1,800円）

2. 広報渉外部と連携して、協賛金の請求・入金処理を行った。

3. 各部部署費の精算業務

各部署の大会会計、および一般会計経費の精算業務を行った。

4. 予算・決算業務

予算案の作成、決算管理を行った。

5. オリジナルウェア製作・販売管理

Tシャツ：2,800円×118枚＝330,400円

ロングTシャツ：3,200円×96枚＝307,200円

ポロシャツ：3,400円×13枚＝44,200円

合計：681,800円/227枚（前年比－1,403,200円）

6. 事務所および事務所備品管理を行った。

課題点

パンフレット及びオリジナルウェアの売上が低く、収入が大幅に減少した。

参加費や運営費のチーム負担の軽減

解決策

売上金の増収のために、販売方法・宣伝方法を工夫する。

協賛収入確保と経費削減の努力に努める。

【競技部活動報告】

(1) はじめに

2025年度も競技部では、各種大会の安定運用、競技の普及を目指して様々な活動を行った。本報告書では、競技部内での年度内の主要な活動と成果についてまとめる。

(2) 主要活動

大会運営の円滑化および競技環境の向上を目的として、各種業務の改善に取り組んだ。

具体的には、エントリー管理やトーナメント表作成等の運営業務の整理・効率化を図るとともに、大会当日の役割分担や連絡体制を明確化することで、安定した大会運営を実現した。

・第46回全関西大学女子バスケットボール選手権大会

実施日：2025年4月12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、
26日(土)、27日(日)、29日(祝・火)、5月5日(祝・月)、6日(祝・火)

会場：東和薬品 RACTAB ドーム、ベイコム総合体育館(尼崎市記念公園)他

チーム数：37チーム

・第3回全関西大学女子バスケットボール新人戦

実施日：2025年5月10日(土)、11日(日)、17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日)

会場：大浜だいしんアリーナ(堺市立大浜体育館)、各大学体育館

チーム数：26チーム

・男子第75回女子第74回西日本学生バスケットボール選手権大会

実施日：2025年6月1日(日)～2025年6月8日(日)

会場：Asueアリーナ大阪(大阪市中央体育館)他

チーム数：61チーム

・2025年度全関西大学女子バスケットボールリーグ戦

実施日：2025年8月30日(土)～11月1日(土)

会場：豊中市立豊島体育館、各大学体育館

チーム数：1部10チーム、2部11チーム、3部12チーム、4部7チーム

・2025年度全関西大学女子バスケットボール秋季トーナメント大会

実施日：2025年11月15日(土)、16日(日)、22日(土)、23日(日)、24日(祝・月)

会場：各大学体育館

チーム数：28チーム

(3) 地域貢献活動

リーグ戦の中に豊中市と連携し、豊中市バスケットボールフェスタを2025年9月28日(日)に豊中市立豊島体育館にて開催した。地元の小学生約100名を対象に、技術指導や交流の場を提供し、競技の普及と地域との連携を図った。

(4) 成果

1. 大会運営の円滑化

公営体育館および大学体育館の各会場において、施設担当者との事前打ち合わせを密

に行った。その結果、会場設営や緊急時対応の面では、円滑な運営を実施することができた。また、広報渉外部と連携し、会場に関する注意事項を SNS および学連 HP に掲載することで、関係者への周知を徹底し、トラブルの軽減に努めた。

2. 競技環境の向上

2025年度のJBA競技規則改訂に伴い、ショットクロック設備を更新した。これにより、最新の競技規則に適應した競技環境を整備し、競技の公平性および大会運営の質の向上を図ることができた。

(5) 課題

1. 会場確保

公営体育館および大学体育館の確保が年々困難になっている。本課題は、競技部のみではなく、学連全体として取り組むべき重要課題である。そのため、理事および学生委員が連携し、早期の情報共有と計画的な調整を行いながら、継続的な会場確保体制を構築する必要がある。

2. 参加チーム数の減少

少子化や公立中学校・高校における部活動のクラブチーム化の進行により、学生バスケットボール人口は年々減少していると考えられる。その影響として、加盟校の減少および大会参加チーム数の減少が生じている。このような状況においても、大会の規模・強度を維持しつつ、安定した競技環境を整える必要がある。

(6) 2026年度の競技部事業計画

1. コンセプト

「学生が安心・安全に試合に臨むことができる競技環境の構築」を目指す。

大会運営においては、競技結果のみならず、

- 安全に安心して試合が実施されること
- 試合進行が円滑であること
- 学生が競技に集中できる環境が整っていること

を重視し、関係者が共通認識をもって大会運営に取り組む。

2. 重点課題と NEXT (次年度の具体的取組)

① 会場確保【最優先課題】

公営体育館および大学体育館の確保は年々困難となっており、競技部単独での対応には限界がある。

NEXT (次年度の取組)

- 競技部にとどまらず、学連全体として会場確保に向けた連携体制を構築する
- 理事・学生委員と連携し、従来よりも早い段階で会場打診・調整を開始する
- 入れ替え戦については、開催会場の早期確保を最優先事項として対応する
- リーグ戦についても、会場の打診・決定時期を前倒しし、安定した日程確保を図る

② 円滑な大会運営体制の強化

大会運営の円滑化および安全な試合進行を実現するためには、運営に関わる全体の役割理解と共通認識の徹底、ならびに試合環境の整備が不可欠である。

NEXT (次年度の取組)

- TO（テーブルオフィシャル）講習会を実施し、試合進行に関わる知識・技能の底上げを図る
- 学生委員・関係者が共通の基準で運営に関われるよう、事前確認および情報共有を徹底する
- 対面式タイマーを設置し、ベンチおよび審判が時間を視認しやすい試合環境を整備する ※対面式タイマーについては既に機材を購入済みであり、次年度より本格的に活用する
- 試合運営に必要な機材・設備の点検および配置を見直し、安全で円滑な試合進行を支える環境整備に取り組む

3. まとめ（次年度に向けて）

競技部は、連盟事業の基盤である大会運営を担う立場として、「安心・安全」「早期対応」「連携強化」をキーワードに、次年度事業を推進する。学生が安心して競技に打ち込める環境を整えることが、競技力向上および競技普及につながるとの認識のもと、学連全体で協力しながら事業に取り組んでいく。

【審判部活動報告】

■大会審判割当

試合審判割当及び審判料と交通費などの経費管理

■審判部開催事業

①帯同審判実技・Web 講習会

名称：JBA 公認 C 級 D 級 新規取得・昇格講習会

日時：2025 年 8 月 20 日(水),21 日(木),22 日(金)

会場：ヴィクトリーナ・ウインク体育館(姫路市立中央体育館)

対象：2025 年度 4 月に(一社)全関西大学女子バスケットボール連盟に帯同審判登録をした者

大会：2025 年全国薬学大会

Web 講習会：2025 年 8 月 12 日(火)19:00~21:00@ZOOM

《総括》

実技講習会では、学生審判員(E 級取得済み)が、1 試合担当した。クルーチーフは、C 級以上の審判員が担当し、アンパイアー(副審)に学生審判員を置いた。1 試合通して、「わからないをなくす」を目標に行なった。実際に、リーグ戦前に実施することによって、2025 年リーグ戦 3 部・4 部では、帯同審判員が担当し、円滑に運営することができた。次年度も継続して実技講習会を実施していきたい。

②近畿ブロック C 級 D 級審査会 大学生の部

名称：JBA 公認 C 級 D 級 新規取得・昇格講習会

日時：2025 年 11 月 15 日

会場：

対象：2025 年度(一社)全関西大学女子バスケットボール連盟に帯同審判登録済みかつ夏の実技講習会に参加した者。また、2025 年 9 月時点で大学 3 年生以下の者。

大会：2025 年度(一社)全関西大学女子バスケットボール秋季トーナメント大会

事前説明会：2025 年 10 月 14 日(火)@ZOOM 19:30~

開講式：2025 年 11 月 14 日(金)@ZOOM19:30~

《総括》

学生のライセンス取得に対する意思、事務手続きの説明等を web 講習会で実施した。web 説明会では、①審査会に向けての心構え②審判員に求められるもの③実技審査会に向けて④チーム JBA の登録及び操作方法の 4 つについて説明した。web 説明会後の辞退者は 2 名であった。(e ラーニング講習期限切れ 1 名、怪我 1 名)。Web 説明会実施により、円滑に審査会を終えることができた。来年度も web 説明会を実施していきたい。しかし、来年度審判部の人数不足という点もあり、学生が webs 説明会から講習会・審査会を行うことが困難である。審判部理事及び、審判関係者に引き続きサポートしていただく必要がある。目指すは、学生が学生の大会を運営することである。大会重複に惑わされない、審判員の確保が必要かつ継続的に試合運営が行える体制を整えなければならない。来年度からも、帯同審判員制度を導入し、学生審判員の増加に努める。また、C 級審判員の育成を行い、各府県へ B 級審査会の推薦ができるよう体制を整えていく。

③全国学生審判講習会

日時：2025年8月23日24日

会場：天白スポーツセンター・名城大学

内容：座学と実技講習会

2026年度学生委員一覧

◎学生委員長	<small>こうの みさこ</small> 高野 美佐子	武庫川女子大学	4年（専任）
◎学生副委員長	<small>さかた ことね</small> 阪田 琴音	園田学園大学	4年（選手兼任）
◎総務部	<small>いながき はるか</small> 稲垣 遥	立命館大学	3年（スタッフ兼任）
	<small>かつい まなみ</small> 勝井 真奈美	桃山学院大学	2年（専任）
◎広報渉外部	<small>さかた ことね</small> 阪田 琴音	園田学園大学	4年（選手兼任）
	<small>たかた りん</small> 高田 鈴	大阪産業大学	4年（スタッフ兼任）
	<small>ないとう ゆい</small> 内藤 優依	大阪体育大学	3年（スタッフ兼任）
	<small>もりの こなつ</small> 森野 湖夏	京都先端科学大学	3年（スタッフ兼任）
◎財務部	<small>うおずみ ほのか</small> 魚住 帆香	甲南大学	3年（専任）
	<small>のむら ゆきの</small> 野村 雪乃	神戸親和大学	3年（専任）
◎競技部	<small>こうの みさこ</small> 高野 美佐子	武庫川女子大学	4年（専任）
	<small>とさまかの</small> 戸佐間 楓乃	大阪人間科学大学	3年（スタッフ兼任）
	<small>みやざき ゆあ</small> 宮崎 優愛	園田学園大学	2年（専任）
◎審判部	<small>こばやし あいり</small> 小林 愛梨	武庫川女子大学	4年（専任）
	<small>おだ かほり</small> 小田 かほり	京都教育大学	3年（スタッフ兼任）
	<small>こやまだ りり</small> 小山田 璃々	神戸親和大学	3年（専任）
◎強化部	<small>こうの みさこ</small> 高野 美佐子	武庫川女子大学	4年（専任）

下線はチーフ